
俺とバカどもと幻想郷

サイクス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺とバカどもと幻想郷

【Nコード】

N0684Z

【作者名】

サイクス

【あらすじ】

ある者から追われ、瀕死の重症を負った神楽一族の生き残り。そして一部の記憶も失ってしまう。旅に出たその者の行き先はバカテスの世界！？他のオリキャラも出す予定です！
初めての作品で未熟なところもありますが、よろしく願います。

すべての始まり

それは・・・些細な出来事だった。

幻想郷にて

????「ハア・・・ハア・・・ハア・・・」

俺が気が付いたときはもう、体力も限界を超えようとしていた。両手は血で染まっている。足もフラフラだ。視界まで霞んできやがる。

????「くそっ！このままじゃ・・・！」

追っ手1「いたぞ！逃がすなあ！！」

追っ手2「殺してでもそいつを奪え！！！」

ちっ、もう追いついてきやがった。あまり使いたくはなかったが・・・！！

????「炎符『フレアグレネード』！！」

咄嗟に放った俺のスペルカードは火を噴き追っ手たちに襲い掛かる。同時に俺の体から力が抜けていくのがわかった。
・・・調子に乗りやがって・・・！！だが。

？「あら、ようやく目覚めたのね。さすがは一族の生き残り。たいした生命力ね。」

????「あなたは……？俺を知っているようだが……。」

この家の主らしき女性がそこにいた。金髪の髪を下ろした綺麗な人だった。

紫「私は 八雲紫。あなた、名前言える？」

????「ん？あれ……。わからない。この幻想郷の最低知識以外

なにも出てこない。思い出そうとしても……何もなし……。」

紫「困ったわね……。名前がわからないじゃ……。」

考え込む紫、困ってるようなのである提案をした。

????「……あなたはさっき、『一族』と言いましたよね。一族と言っからには

何か苗字があるのでは？」

と、恐る恐る聞いてみる。え、何で敬語なのかって？

まあ、この人見るからに強そうだし。カリスマ、というかなんというか。

紫「ええ。あなたは古より伝わりし『神楽一族』。この幻想郷の中でも

トップクラスの戦闘能力と地位を持つ一族ね。」

それを聞いて俺は啞然とした。それって……

神楽(?????)「それって大昔に滅んだ一族ですよ。どういうことですか!？」

紫「それが生きていたのよ。貴方だけね。」

神楽「え……?~~~~~ツ!分からないことだらけだ!」

取り乱す俺を紫は優しく制する。

紫「落ち着いて。……そうね、まずは貴方の名前、考えましようか。」

それには俺も同意見だ。

どうか、崩壊的なネーミングセンスじゃありませんように……!

すべての始まり（後書き）

初投稿です！未熟ですがどうかよろしく・・・
えっと、更新スピードは不定期かもです。

次回は紫が神楽の名前を決める・・・のか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0684z/>

俺とバカどもと幻想郷

2011年12月2日18時49分発行